

平成22年度第1回さぬき市行政改革推進委員会 会議要旨(要約)

- 1 日 時 平成22年8月17日(火) 9:30~11:30
- 2 場 所 さぬき市役所3階301会議室
- 3 出席者[委員]木内 谷 對馬 尾端 金岡
野崎 矢木 高嶋 真鍋 頼富
[事務局]安富総務部長 十河政策課長 山下課長補佐 山田係長
[傍聴]3名
- 4 議 題 提言書に関する市の対応について
ブラッシュアップ会議について

5 会議の内容は次のとおりである。

(1) 委員2名に総務部長から委嘱状を交付した。

さぬき市連合自治会の推薦で委嘱した当委員会の委員2名について、当該団体から役員改選に伴い推薦者の変更があったので、前任者の辞職を報告し、後任者の委嘱(任期:平成22年8月17日から平成23年3月31日まで)を本日付で行った。

(2) 提言書に関する市の対応について

平成21年度において当委員会が協議した内容をとりまとめた「平成21年度行政改革に関する提言(意見書)」(平成22年2月12日付行政改革推進委員会作成 平成22年3月12日市長提出)に対して、市の対応をまとめた「提言書に関する市の対応について」(行政改革推進委員会提出資料1平成22年6月7日総務部政策課)に基づいて説明をした。

委員の主な意見等は、次のとおりであった。

公共交通検討協議会がコミュニティバスについて検討している。また、温泉等の施設は、温泉施設等検討委員会が検討している。こういった審議会と行政改革推進委員会は、同じ案件を協議していることになり、複数の答えとなると、市のとりまとめが難しいことになるのではないかと。

会議資料に掲載するDATAは、会議に間に合う限度において最新のものにすべきである。民間の経営感覚は、そうしたもので、スピーディさが求められる。

ケーブルテレビの加入世帯のDATAがあるが、比較するDATAがないので、DATAを掲載した意図が弱く、次の戦略をたてることができない。この場合の比較するDATAは、市全体の世帯数が必要である。

提言書の中に、さぬき市の平成22年度の目標が表れていないように思う。

市長の公約と行政改革の進め方の関係が、提言書ではよくわからない。

公共施設の閉館時間について、ライフスタイルの変化で遅くまで活動する場合がある。施設を管理する側、使用する側の調整は必要であるが、対応できるならば午後9時よりも遅い時間の設定を協議いただきたい。

(3) ブラッシュアップの概要

本年度からさぬき市が初めて取組をするブラッシュアップ会議の趣旨、年間スケジュールについて、「ブラッシュアップ会議の概要について」(行政改革推進委員会提出資料2平成22年7月21日総務部政策課)に基づいて説明した。

会議の名前となっている「ブラッシュアップ」は、磨き上げという意味で、さぬき市にはいろんな課題があるものの、さまざまな意見があって整理できないまま今日に至っているものが多くあり、こうしたものを整理していきたいということから実施する。

会議は、6回で、事業を実施する所管課も会議に加わって協議をする。議会の意見も聴いて市の方針をとりまとめる。

会議の案件は、庁内の各課等から募集し、応募のあった3件を協議することとした。

委員の意見は、特になかった。

(4) 敬老記念事業

「敬老記念事業」(行政改革推進委員会提出資料3平成22年7月21日総務部政策課)に基づいて説明をした。

敬老記念事業は、自治会等が行う敬老事業に補助金を交付する事業、80歳、88歳、99歳以上の高齢者に市が商品券を交付する事業、最高齢者上位3名等に記念品を交付する事業を行っている。これらの事業は、高齢者が、地域で大切にされ、安心して暮らせるために適切なものとなっているかどうか検証する必要がある。また、重複した内容になっていることから、これらの事業を整理する必要がある。

本日の会議は、検討案件の情報の共有化が目的であることから、委員の意見等は特になかった。

(5) 放課後児童クラブ事業及び児童館管理事業

「放課後児童クラブ事業及び児童館管理事業」(行政改革推進委員会提出資料4平成22年7月21日総務部政策課)及び「さぬき市の児童健全育成事業の仕組みについて」(行政改革推進委員会提出資料4-2平成22年8月16日総務部政策課)に基づいて説明をした。

働く女性や核家族が増えている中で、放課後や学校休校日に子供だけで過ごす家庭が増えている。こうしたことから、子供たちの安全を確保するために放課後児童クラブ制度が発足したが、必要とされる子供の全部に対応できるような内容になっていない。また、児童館で対応しているところについて、利用者の増加に伴い、収容人数に限りがあることからこのままでの継続が難しくなっている。

本日の会議は、検討案件の情報の共有化が目的であることから、委員の意見等は特になかった。

(6) 観光協会事務局事業

「観光協会事務局事業」(行政改革推進委員会提出資料5平成22年7月21日総務部政策課)に基づいて説明をした。

さぬき市観光協会は、さぬき市における観光事業の振興を図り、併せて地域文化、産業の発展向上に寄与することを目的に設立された団体で、正会員（会費1口2,000円）282名、賛助会員（会費1口5,000円）183名が構成員となっている。収入の内訳は、会費1532千円、市補助金36,612千円などである。支出の主なものは、イベント助成で50事業に31,038千円を交付している。助成を希望する団体が多くなる一方で、市の厳しい財政状況をみれば、今後抑制していくことが求められる。さぬき市観光協会のより良いあり方を整理することが求められている。

本日の会議は、検討案件の情報の共有化が目的であることから、委員の意見等は特になかった。

（7）次回の会議

次回の会議は、3つの案件を議題として開催し、1つの案件について40分の持ち時間で、10分で所管課から概要説明を行い、残り30分で質疑を行うこととする。

今回は、9月24日（金曜日）に行う。